

## 令和2年2月定例教育委員会会議録

1. 日 時 令和2年2月13日（木）午後2時30分～午後4時40分
2. 場 所 市立公民館4階 多目的ホール
3. 出席者  
教育長 樋口 利彦 教育長職務代理者 野口 和江 委 員 谷口 馨  
委 員 河野 さおり 委 員 植原 和彦
4. 事務局出席者  
教育総務部長 藤浪 秀樹／学校教育部長 谷 桂輔／生涯学習部長 藤原 淳  
総務課長 高井 哲也／学校給食課長 井出 英明／学校管理課長 山本 千尋  
産業高校学務課長 小林 大樹／学校教育課長 倉垣 裕行／人権教育課長 寺内 ユカ  
生涯学習課長 寺本 隆二／スポーツ振興課長 津田 伸一／郷土文化課長 西川 正宏  
図書館長 溝端 多賀子／総務課参事 松本 秀規／総務課参事 井上 慎二

### 開会 午後2時30分

前回会議録について承認された。本会議録署名者に野口教育長職務代理者を指名した。

傍聴人0名

#### ○樋口教育長

ただいまから、令和2年度2月の定例教育委員会会議を開催します。

### 報告第5号 大芝幼稚園ノラネコ撃退器（ガーデンバリア）の寄贈について

#### ○樋口教育長

報告第5号について、説明をお願いします。

#### ○山本学校管理課長

報告第5号につきましては、大芝幼稚園ノラネコ撃退器（ガーデンバリア）の寄贈についてです。

大芝幼稚園に2台寄贈していただきました。換算額は16,600円です。寄贈目的は地域貢献のためで、寄贈者は三田町にあります株式会社ユタカメイク代表取締役の雪本様からいただいており、寄贈年月日は令和元年12月11日です。

なお、外側の木造のケースは学校校務員が作成したものです。

#### ○樋口教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

○河野委員

野良猫が多いのですか。

○山本学校管理課長

はい。幼稚園の周りや砂場のよく糞尿をされており、衛生的に良くないので、ノラネコ撃退器をいただいたとのこと。

○河野委員

どの様に使うのですか。

○山本学校管理課長

電池式で、センサーが付いており、機械の前を小動物が通れば、動物が嫌がる音を出します。人間にはほとんど聞こえない周波数の音だそうですが、子どもはとても耳が良いのでモスキート音のように聞こえる場合があると聞いています。

○河野委員

効果はありましたか。

○山本学校管理課長

被害は少なくなっているとのこと。

○樋口教育長

ほかにいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第6号 東光小学校普通教室 床材の寄贈について

○樋口教育長

報告第6号について、説明をお願いします。

○山本学校管理課長

報告第6号につきましては、東光小学校普通教室 床材の寄贈についてです。

寄贈品目は東光小学校普通教室1教室分の床材を施工費込みでいただいています。換算額は488,144円です。寄贈目的は東光小学校普通教室の床材として使用してもらうため、寄贈者は大阪市中央区南本町にあります、朝日ウッドテック株式会社代表取締役海堀様からいただいています。寄贈年月日は令和2年1月23日です。

施工につきましては、朝日ウッドテック様の社員様と学校校務員が共同で行いました。

○樋口教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。順番に床をきれいにしていくと子どもたちがとても喜びますね。

○山本学校管理課長

今回の東光小学校で3校目になります。

○樋口教育長

ほかにいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

## 報告第7号 令和3年度大阪府公立高等学校入学者選抜の日程について

### ○樋口教育長

報告第7号について、説明をお願いします。

### ○小林産業高校学務課長

報告第7号につきましては、令和3年度大阪府公立高等学校入学者選抜の日程についてです。明日から今年度の特別入学者選抜の出願が始まりますが、来年度の入学者選抜の日程が決まりましたので報告します。出願期間などはおよそ例年通りですが、特別入学者選抜（全日制の課程）につきましては、出願期間が令和3年2月15日（月）・16日（火）で学力検査が2月18日（木）と、この間が通常2日のところ1日しかなく準備が忙しくなりますが、時期をずらしめると学力検査と実技検査の間に土日が入ってしまうので受験生のことを考慮しまして、大阪府と設置市で相談し決めさせていただきました。

### ○樋口教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。府内の統一日程ですので、報告として承るといふことでよろしいか。

【教育委員一同了承】

### ○樋口教育長

それでは、報告として承りました。

## 報告第8号 定時制聴講生（ワード基礎）募集について

### ○樋口教育長

報告第8号について、説明をお願いします。

### ○小林産業高校学務課長

報告第8号につきましては、定時制聴講生（ワード基礎）募集についてです。

毎年行っています聴講生の募集案内です。聴講の日時は、令和2年4月13日（月）から令和3年2月頃まで開催します。場所は岸和田市立産業高等学校、募集科目はワード基礎、対象は20歳以上の府内在住・在勤者となります。聴講料は年額3,300円（教材費など別途必要）です。募集定員は若干名ということになりますが、聴講ですので教室の空き具合を考慮し人数を決めます。願書受付は3月19日（木）及び23日（月）の午後6時から8時まで事務室で行います。試験は、3月27日（金）午後6時から産業高校で行います。合格発表は、4月2日（木）午後6時半から産業高校で行います。周知は、広報きしわだ3月号に掲載する予定です。

これまでの受講状況は、令和元年度1名、平成30年度1名、平成29年度は残念ながらいらっしやいませんでした、平成28年度は2名という状況です。

### ○樋口教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

### ○野口教育長職務代理者

定時制ではエクセルの授業は行っていますか。

○小林産業高校学務課長

行っています。

○野口教育長職務代理者

エクセルの講座は開かれていないのですね。社会的な需要としてはエクセルの方が大きいという気がしますが、いかがでしょうか。

○小林産業高校学務課長

はい。過去の受講状況をみましても増えていませんので、検討する必要があると思います。

○樋口教育長

受講生が増えるような内容や取り組みを学校でいただいたらと思いますので、よろしくお願ひします。ほかにいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第9号 教育活動に係る備品等の寄贈について

○樋口教育長

報告第9号について、説明をお願いします。

○倉垣学校教育課長

報告第9号につきましては、教育活動に係る備品等の寄贈についてです。

寄贈いただいたものは、「ボッチャ」と呼ばれるスポーツに必要なもの4セット、特別教室などで使う丸椅子40脚、ビデオカメラ2台、換算額は342,792円となっています。

寄贈目的は、中央小学校の教育活動の充実にあてるということでいただいています。

寄贈者は、堺町の中央小学校全校同窓会の〆野様からいただいています。

寄贈年月日は令和2年1月22日です。

○樋口教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

○野口教育長職務代理者

「ボッチャ」は重度の脳性麻痺や四肢障がいの方がされるスポーツだと思いますが、支援学級で使えるようにということですか。

○倉垣学校教育課長

「ボッチャ」はパラリンピックで有名になったスポーツですが、今では特に障がいの有無に関わらずスポーツとして取り組まれています。

○樋口教育長

ほかにいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第10号 セラピードッグに読み聞かせ講座の開催について

○樋口教育長

報告第10号について、説明をお願いします。

#### ○溝端図書館長

報告第10号につきましては、セラピードッグに読み聞かせ講座の開催についてです。

講座の目的等概要ですが、人前で本を読むことが苦手な子どもや、言語障害等で人と会話をすることに慣れていない子どもが読書介助犬の前で本を音読することで、読書に対する苦手意識を克服し、自己肯定感を養うことを目的とした取り組みです。アメリカから輸入されたプログラムですが、近年日本でも「わんどく」といった名称などで開催されるようになりました。

読書介助犬、いわゆるセラピードッグと言いますのは、触れ合いや交流を通じて病気やケガまたは精神的な痛みを受けた人の不安を減らし、気力を高め心と体を癒す働きをする高度な訓練を受けた犬たちのことで、日本レスキュー協会ではドッグセラピーの効果の検証を病院や大学の研究チームと行い、介護ケアプラン・医療プログラムとしての導入を目指しているとのこと。

当日は、本日お配りしているチラシにも写真がありますが、府立母子センターを毎月訪問し活動を続けているセラピードッグ3頭が来てくれまして、15組の子どもたちが1対1で本を読み聞かせる予定です。この取り組みを通じて、読書が好きな子どもが増えるように進めていきたいと思っております。日時、場所、申し込み等の詳細につきましては記載のとおりです。

#### ○樋口教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

#### ○植原委員

これは「R. E. A. D プログラム」ですね。不登校や心に傷を負った子どもが犬に読み聞かせすることによって、回復して学校に行きだしたりということが、東京都の三鷹小学校で実証されています。1999年にアメリカで始まり、とても効果があった。しかしセラピードッグ自体が普及していないので、例えば学校にチラシを配っていく中で参加者が集まるのかという不安があります。集まればとても効果があると思います。学校でも行うべきだと思います。

#### ○溝端図書館長

犬が好きな子どもはたくさんいらっしゃると思います。「広報きしわだ」等に掲載しますと、元気な子どもが先着で申し込まれるのではないかと思いますので、小学校にチラシを置き、先生方のお声がけなどでまずは募集をしてみます。それで集まりがよくなければ対外的に広報をしていきたいと考えています。どの程度申し込みがあるか分かりませんが、一人10分程度になりますので、1頭あたり5人で交代の時間も含めて1時間半程度になるかと思います。

#### ○植原委員

とても良い取り組みだと思います。

#### ○野口教育長職務代理者

実施場所は図書館の視聴覚室ということですが、視聴覚室に応募した子どもが皆同時に来て、皆がいる中で3頭の前で順番に読み聞かせるのですか。

#### ○溝端図書館長

子どもに待機してもらう場所は図書館のフロアで一緒になるかもしれませんが、実際の読み聞かせは協会の方にご指導いただいて視聴覚室の中では個別に間仕切りをして、ブースを設置し、

周りから見られているとか、聞かれているという緊張感のないように配慮して子どもたちが読み聞かせができるようにする予定です。

○樋口教育長

ほかにいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

○樋口教育長

報告は以上ですが、ほかに報告はないでしょうか。

ないようですので、議案の審議に移ります。

**議案第6号 補正予算について（事業費補正・繰越明許費）**

○樋口教育長

議案第6号について、説明をお願いします。

○山本学校管理課長

議案第6号につきましては、補正予算（事業費補正・繰越明許費）についてです。

今回の補正予算は国の一般会計補正予算での学校施設環境改善交付金事業により、大規模改造事業等の工事費の前倒しにより、令和2年第1回定例市議会にて歳入・歳出予算補正を審議いただくものです。

補正内容につきましては、大きく分けて3つあります。一つ目は、小中学校全てにおいて「GIGAスクール構想」に基づく、高速回線に向けた校内無線LANの整備を進めるものです。国の「GIGAスクール構想」は、「校内通信ネットワーク整備事業」と「児童生徒1人1台端末の整備事業」があります。今回の補正予算において実施するものは、「校内通信ネットワーク整備事業」です。各学校の普通教室、特別教室において児童生徒全員が一斉に端末を使用できる環境（無線LAN）を整備するものです。

また、端末を収納し、鍵を掛け充電できる電源キャビネットも併せて整備を行います。

端末につきましては、令和3年度以降に児童生徒一人一人に端末整備を行いたいと考えています。

二つ目は、体育館は地震や台風、豪雨などの災害発生時において児童生徒の安全を確保する必要があると同時に地域住民の避難所となるため非構造部材の耐震化が早急に求められていることから、浜小学校外12校、野村中学校外4校において、耐震化を図るものです。基本的には照明器具やバスケットゴールの落下防止と照明器具は同時にLED化を図っていきたいと考えています。

三つ目は、トイレの大便器の洋式化です。これにつきましては年次的に進めていますが、今回は城内小学校外14校においての実施を考えています。

次に補正予算額ですが、歳出はICTの環境整備事業に6億5千万円、小学校の防災機能強化事業とトイレの洋式化で4億8千万円、中学校の防災機能強化事業で3千3百万円です。歳入は学校ICT環境整備事業の国の補助金が1/2で残りが市債です。小学校中学校の学校施設環境改善交付金は、国の補助金が1/3で残りが市債です。

次に今回の補正につきましては、国の事業の前倒しによるもので、事業実施期間がないため令和2年度に繰り越して実施するものです。

○樋口教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

大きな事業ですが、「GIGA スクール構想」は全国的に推進するように国から言われており、府もその旨伝えてきているところです。近隣市も全体的には、まずこの無線 LAN の整備をしないと一人一台端末が進まないのので、ここからスタートする所が大半です。本市はその後、一人一台端末を手掛けていこうというところで、今回はまず環境整備を進めるという大きな構想に沿ったものです。

トイレの洋式化はどの位の割合で実施されていますか。

○山本学校管理課長

小中学校合わせますと、約半分、50%というところです。

○樋口教育長

それでは、このような事業を活用しまだ進める必要がありますね。

○谷口委員

これと並行して教える先生方のスキルを上げることについては、どのような動きがありますか。

○倉垣学校教育課長

まだ具体的には決まっていますが、子どもたちに一人一台の端末ということであれば、当然教師の分もありますので、指導法、活用についても何らかの形で統一した研修などの対応が必要と考えています。

○樋口教育長

この構想によって一気に研修などで先生方もスキルを身につけないといけない状況になると思いますので、府の教育センターの研修なども活用して進めていただけたらと思います。ほかにいかがでしょうか。ないようですので、原案のとおり承認することとします。

議案第7号 補正予算について（事業費補正）

○樋口教育長

議案第7号について、説明をお願いします。

○山本学校管理課長

議案第7号につきましては、補正予算（事業費補正）についてです。

今回の補正につきましては、平成30年9月4日台風21号により学校園施設が被災したため、公立学校施設災害復旧費国庫負担（補助）事業により実施してまいりました。

今回、被害を受けた学校園施設につきましては、建物総合損害共済による災害共済金が交付され、その金額は特定財源として経費に充当されたため、国庫負担金の一部を償還することになりました。そのため、令和2年第1回定例市議会にて歳出予算補正を審議いただくものです。

補正予算額は、小学校が4,353千円、中学校が2,934千円、幼稚園は250千円の償還となっております。

います。

○樋口教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。ないようですので、原案のとおり承認することとします。

議案第8号 令和2年度 岸和田市教育重点施策（案）について

○樋口教育長

議案第8号について、大きな変化があったところを中心に関係各課より説明をお願いします。

○倉垣学校教育課長

議案第8号につきましては、令和2年度 岸和田市教育重点施策（案）についてです。

主な変更点について順番に説明をお願いします。

○各担当課（館）長

【前年度からの変更箇所について説明】

○樋口教育長

説明が終わりました。章を区切って気付いた点を出していただけたらと思います。5ページ「1. 幼児期の教育」から6ページまでで、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

≪1 幼児期の教育（P. 5、6）≫

○野口教育長職務代理者

（3）子育て支援の拡充②に「市長部局と」と変わっていますが、名称が変更になるのですか。

○藤浪教育総務部長

令和2年第1回定例会での議決事項になりますので、今の段階では名称は決まっています。

○樋口教育長

ほかにいかがでしょうか。ないようですので、続きまして7ページから10ページ「2. 児童・生徒の「知」の育成」について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

≪「2. 児童・生徒の「知」の育成」（P. 7～10）≫

○谷口委員

（2）②理科教育の充実を学力調査に置き換えたとのことですが、理科教育を全く消してしまうということは、達成されたのか、又はより項目が多くなるからなのか。

○倉垣学校教育課長

理科に限らず、理科も含めてすべての教科・領域において、という意味合いも込めています。

○植原委員

理科の実験補助員は派遣されるのですか。

○倉垣学校教育課長

一旦今年度で終了します。

○樋口教育長

(2) ⑤ICT を活用した効果的な取組みの推進の項目で、来年度から小学校でプログラミング教育が開始されますので、例えば「プログラミング教育を含め」などの表現を使用すれば良いのではないのでしょうか。

○野口教育長職務代理者

(4) 小中の連携の項目で、「合同推進会議を開催」というところが「つながりを意識した指導・取組み」に替わっていますが、合同推進会議は無くなるということでしょうか。

○倉垣学校教育課長

市で統一して実施するという事は一旦見送ります。

○野口教育長職務代理者

(5) ②キャリア教育の所管が人権教育課から学校教育課に換わったのはどういった理由からですか。

○谷学校教育部長

元々キャリア教育、その中には進路指導も入っていますが、従前、学校教育の業務として位置付けて行っていました。この間学校教育課と人権教育課の業務の分担の在り方を部全体としてバランスを取ってきたところですが、ご存知の通り、今特別支援教育や日本語指導の分野が急激に業務が拡大しまして、部全体として業務を見たときに、学校教育課が所管する方がよりバランスが取れるというところから所管を換えました。業務の性質というよりは、部の中の人員の構成と業務分担の在り方で見直しを図ったところです。

○谷口委員

(5) 「④時代に応じた専門教育・産業教育の充実」の項目が消去されていますが、今朝の新聞に公立高校の応募状況が掲載されており、産業高校も情報科はかなり志願されていますが、商業科は定員に満たないということであれば、こういう「時代に応じた」という所は必要ではないかと考えます。消されたというのは、何か別の所に置き換えたということでしょうか。

○倉垣学校教育課長

この項目は産業教育審議会の開催に伴って記載していたものであり、今年度で終了しますので削除しました。

○植原委員

産業教育審議会は今年度開催しており、これから答申が出て、それを基にして現場で専門教育に活かすのであれば必要ではないのでしょうか。

○谷口委員

現場で活かしていくのであれば、これから必要になってくるのではないのでしょうか。

○河野委員

今年度の重点施策は「答申に基づいて」となっていますが、答申に基づいて何もしていないの

で必要ではないでしょうか。

○樋口教育長

産業教育審議会に基づいた後半の文言は、今までもこれからも重要な文言で、産業高校のあるべき姿、大事な部分ですので、出来るだけ記載の方向で検討してください。

○谷学校教育部長

それでは、標題は「④時代に応じた専門教育・産業教育の充実」として下の文章は検討します。

○植原委員

(5) ①にある「専門教育の基礎・基本」とは何を意味しますか。

○谷学校教育部長

産業高校における専門教育の基礎・基本ですので簿記、会計や情報教育。デザインシステム科ではデザインに関する部分が土台となって即戦力として企業に就職したり、専門学校や大学に行ってさらに深めたりというところになりますので、簿記、会計、情報教育の資格取得も含めてというふうに捉えています。

○樋口教育長

高等学校の学習指導要領の中にも商業基礎というものもあります。ほかにいかがでしょうか。ないようですので、11 ページから 14 ページ「3. 児童・生徒の「徳」の育成」について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

≪「3. 児童・生徒の「徳」の育成」(P. 11~14)≫

○野口教育長職務代理者

(3) ①ですが今年度は「問題行動解決」でしたが、「問題行動等の」となっています。「等の」が入ったということは、今年度までは不登校も問題行動に含めていたが、来年度からは問題行動は、いじめ、暴力行為、ネットトラブル等で、不登校と問題行動は並列になったということですか。

○倉垣学校教育課長

生徒指導上の調査や問題行動等調査には不登校も含めて行っていますが、誤解を受けかねない表現ではありますので、そうしました。

○植原委員

(2) 「①道徳教育全体計画及び年間指導計画等の実質化」とありますが、「実質化」とはどのような意味ですか。

○植原委員

(3) 「①問題行動等の解決への適切な支援」で不登校の解消・未然防止と具体的に入っているので、「いじめのない学校づくりや、暴力行為、ネットトラブル等の解決や不登校の解消・未然防止に向けて、適切な支援を行います。」ではどうでしょうか。

○樋口教育長

いじめは問題行動にも入れていますが（４）で特化もしています。

○野口教育長職務代理者

問題行動と不登校の問題とを並列してその解決に適切な支援を行うというこのままで良いのではないのでしょうか。

○植原委員

（５）①の文末「活用します。」とありますが、誰が活用するのですか。他のところは教育委員会が「推進します」、「充実させます」や「実現を目指します」と教育委員会が主体になっています。

○倉垣学校教育課長

教師が指導に活用し、生徒も活用するという意味です。

○植原委員

外の主語は教育委員会になっていますので、教育委員会主体の文章にする方が良いのではないのでしょうか。

○倉垣学校教育課長

「活用を推進します」や「活用を進めます」という表現に改めます。

○樋口教育長

ほかにいかがでしょうか。ないようですので、15 ページ「4. 児童・生徒の「体」の育成」について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

ないようですので、17 ページから 20 ページ「5. 学校園の環境づくり」について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

◀ 「5. 学校園の環境づくり」(P. 17~20) ▶

○谷口委員

（６）①の教員の業務負担軽減は大きな柱であると思いますので、もう少し具体的にこれを行うといった形にした方が推進できるのではないのでしょうか。前回の総合教育会議でも市長が喫緊の課題であるとおっしゃっていました。私もそう思いますし、先ほどの ICT の研修などもあり教師はますます忙しくなってしまうので、何か具体的に高らかにうたっても良いのではないのでしょうか。

○高井総務課長

先日も職場代表の方とお話しして、今年度は話を始めたところで、その会議の中で出た内容を予算要求しました。予算がつく、つかないの話はありますが、先生の働き方の部分で具体的にこういう内容のことを取り組んでいこうという話を今後進めていこうと思います。負担軽減という大きなくくりで話を進めますといろいろな所に話が飛んでしまい、具体的にどの項目を進めていけばよいのかということ、次回出していただいて、それを中心に話を進めていこうと考えています。

○樋口教育長

検討を進め、推進していくことは大事なことです。進めてください。

ほかにかがででしょうか。ないようですので、21 ページから 23 ページ「6. 市民の地域力や教育力の向上」について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

ないようですので、25 ページから 29 ページ「7. 市民の生涯学習の環境づくり」について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

◀「7. 市民の生涯学習の環境づくり」(P. 25~29) ▶

○野口教育長職務代理者

「(2) 学習機会の拡充」の「②シニア世代の学習機会の充実」の中で「身体的にも経済的にも自立した生活を送っていくための講座の実施」ですから、これは高齢者のための職業訓練や介護予防訓練のようなことをイメージすればよいのでしょうか。

○寺本生涯学習課長

身体的にもというのは、健康寿命の増進というところで、家に引きこもるのではなく皆さに出で来ていただいて今までに培った知識等を還元していただくということです。

経済的にもというのは、シニア世代が持っている能力知識というのを社会に還元していただくというところで、持続可能な社会というのが形成される一助になるのではないかと考えています。

シニア世代が元気にたくさんの方がおられて、その方に公民館に集っていただいて、クラブ活動や或いは定期講座の講師としてお招きして開催すれば良いのではないかと考えています。

今までシニア世代の学習機会という題がなかったのですが、今回章立てを行いました。

身体的にも経済的にも余裕を持った形でないと、なかなか公民館には出て来てもらえないという考えの下、公民館が経済的に何か出来るという訳ではありませんが、身体的経済的に充実することによって公民館に出て来てもらえるのではないかと考えています。

○野口教育長職務代理者

図書館のところですが(3)の④「支援の必要な子どもや視覚に障がいがある子ども」と「支援の必要な子ども」と「視覚に障がいがある子ども」が並列されているのですが、「視覚に障がいがある子ども」も「支援が必要な子ども」ではないですか。

○溝端図書館長

それでは、「視覚に障がいがある子ども」を削除すれば全てが包括されますか。

○寺内人権教育課長

そうすると、録音図書などに焦点があたりにくいのではないかと思います。

○谷学校教育部長

例えば、冒頭に「視覚に障がいがある等支援の必要な子ども」とすればどうでしょうか。

○野口教育長職務代理者

また考えてみてください。

○樋口教育長

同じところで括弧書きの「録音図書」というところは削られるのですね。

○溝端図書館長

タイトルに3つ並べるのは多すぎると考えました。本文の中には入れています。

○樋口教育長

④の表題が「障がい者サービス等の推進」となっていますが、その下の説明は全て、幼児、児童、生徒だけのことのようにですが、大人の障がいの方も含めているのですか。

○溝端図書館長

元々は障がい者サービスというタイトルでこの中身だったのですが、教育重点施策なので子どもが対象と考え、本文だけを修正してしまいました。

○樋口教育長

障がい児というよりは、障がいのある幼児、児童、生徒という言葉がよく使われていますので、できるのであれば表題もそうすれば下の説明と一致するようになります。

○溝端図書館長

その方向で検討します。

○樋口教育長

もう一点、(2)の①の「多様な主体が提供する」とありますが、少し分かりづらいと思います。意図は違うかもしれませんが「多様な学習機会」ならよく慣れた表現だと思いますので、文章を読みやすくなるよう検討してください。

○野口教育長職務代理者

(5)の②の3行目「地域コミュニティが形成され」どうなるかが無いままに「地域の総合的な課題へ対応するための事業を推進します。」となり文章が繋がらないのではないのでしょうか。「形成され」とくると次にどうなるかが入らないと文法的にはおかしいです。意味が多分こうであらうと想像はつくのですが、それでいくと「地域コミュニティが形成され、地域の総合的な課題へ対応するための事業が推進されます。」となり生涯学習課の施策という言い方にならなくなりますので、「形成され」のところを変えないといけないと思います。

○寺本生涯学習課長

考えさせていただきます。

○樋口教育長

ほかにいかがでしょうか。ないようですので31ページから33ページ「8. 郷土愛の育成」について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

◀ 「8. 郷土愛の育成」(P. 31~33) ▶

○植原委員

(1)②に「刊行を行います。」とありますが、市史史料の刊行は予算化されるのですか。「刊行」というと市史のように重厚なものを発刊するようなイメージになります。

○西川郷土文化課長

印刷製本費程度ですので、図録のようなものを印刷できたらと用意しています。表現を「発行」に修正します。

○樋口教育長

ひとつおりの教育重点施策を見ていただきましたが、振り返ってみて何かありませんか。

○植原委員

「はじめに」の2行目「人間生活」という表現はどうでしょうか。「生活」でもいいのではないのでしょうか。

○倉垣学校教育課長

検討します。

○樋口教育長

ほかにいかがでしょうか。ないようですので、この後、決定して、次の市議会で概要を説明させていただきますのでよろしくお願いします。

加除修正をしたうえで、原案のとおり承認することとします。

**議案第9号 岸和田市教育委員会表彰規則に基づく追加表彰について**

○樋口教育長

議案第9号について、説明をお願いします。

○倉垣学校教育課長

議案第9号につきましては、岸和田市教育委員会表彰規則に基づく追加表彰についてです。

11月3日に文化の日の表彰がありました。令和元年10月1日以降、岸和田市教育委員会表彰規則第2条第3号及び第3条第2号に基づき追加表彰するものです。追加表彰式は、令和2年3月10日（火）に自泉会館で行なう予定をしています。

対象者は別紙のとおりです。

○樋口教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

○野口教育長職務代理者

高橋 知恵美先生の業績を簡単に教えてください。

○倉垣学校教育課長

国語の指導を専門にされていまして、大阪府の学力関係の事業を受けて、昨年度その中心となつて八木南小学校の国語の授業の推進に非常に力を発揮されたというのが、ここ最近の業績です。

○谷学校教育部長

「深い学び」を実現するということで府内で2例しかない事業の一つを受けていただいて、国語の授業を中心として年に2回公開授業をしていただいたりして取り組んでいただきました。

○樋口教育長

頑張っていたら先生がいるというのは嬉しいことです。ほかにいかがでしょうか。な

いようですので、原案のとおり承認することとします。

#### 議案第 10 号 会計年度任用職員制度の導入に伴う岸和田市社会教育指導員設置規則の廃止について

##### ○樋口教育長

議案第 10 号について、説明をお願いします。

##### ○寺本生涯学習課長

議案第 10 号につきましては、会計年度任用職員制度の導入に伴う岸和田市社会教育指導員設置規則の廃止についてです。

令和 2 年 4 月 1 日施行の改正地方公務員法及び地方自治法により現在の特別職非常勤職員は会計年度任用職員へ移行することとなりました。

そのため人事課において、令和元年第 3 回定例会市議会にて、「特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例」の中の「社会教育指導員」の文言を削り整理を行いました。それに伴いまして、「岸和田市社会教育指導員設置規則」が不要となったため規則を廃止するものです。

##### ○樋口教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

ないようですので、原案のとおり承認することとします。

#### 議案第 11 号 令和 2 年度 教育費当初予算 (案) について

##### ○樋口教育長

議案第 11 号について、予算要求の段階で説明をいただいていますので、その要求額と内示額に大きな差があった事業と主要施策事業の内示結果を中心に簡単に説明をお願いします

##### ○各担当課長

令和 2 年度の教育費当初予算 (案) について、「予算要求と内示額に大きな差があったもの」、「主要施策事業の内示結果」について各課順番に説明

##### ○樋口教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

##### ○野口教育長職務代理者

医療的ケアの必要な児童のための看護師が 1 名増員というのは、違う学校で必要になったということですか。

##### ○寺内人権教育課長

違う学校に配置する予定です。

##### ○野口教育長職務代理者

新たに入学される方ですか。

##### ○寺内人権教育課長

医療的ケアの必要な幼児児童生徒が、入園入学します。

拠点校に居てもらうのですが、必要に応じて廻ってもらうことも考えています。

○野口教育長職務代理者

学校教育課の部活動の指導員は全学校対象ですか。

○倉垣学校教育課長

来年については2名を考えています。指導員として適切な人材が見つかるかどうかということ、学校との日程のマッチングがうまくいくかということがあります。現状2名という計画で、市長より効果検証をせよということです。その結果実施するか否か、拡大するか決定するということになっています。

○野口教育長職務代理者

2名の方が配置されるのは1人1校ですか。

○倉垣学校教育課長

それは学校の人数と状況によります。専門性が高い職員が多い学校では、必要ないという場合もあります。

○野口教育長職務代理者

その方が何校も掛け持ちするということはありませんか。

○倉垣学校教育課長

それはないです。

○野口教育長職務代理者

どういう部活動かも決まっていないのですか。

○倉垣学校教育課長

今検討しています。

○野口教育長職務代理者

学校水泳の予算も内示されたとのことですが、これは要求通りですか。

○倉垣学校教育課長

はい。1中学校区で幼稚園2園、小学校2校、中学校1校分です。

○野口教育長職務代理者

来年度から実施できるということですか。

○倉垣学校教育課長

その予定です。

○野口教育長職務代理者

ALTの派遣の委託料は1.1%増となっていますが、これはどの程度の効果があるのでしょうか。

○倉垣学校教育課長

基本的には何も変わっていません。契約上のことで大きく何か変わるということではないです。

○樋口教育長

限られた予算の中ですけれども効果的にそれぞれの事業ができるようによろしくお願ひしま

す。ほかにいかがでしょうか。ないようですので、原案のとおり承認することとします。

○樋口教育長

以上で、本日の定例教育委員会会議を閉会します。

閉会 午後4時40分

本会議録に相違ないことを認め署名する。

教育長

署名委員